

■年次主任の独り言■

〇いよいよ最終号となった。その時々思ったこと、考えたことを「よくもここまで好きに書いてきたものだ」と、自分に少し感動している。「よく頑張った、あんたは偉い！」また、快く投稿を受けていただいた先生方、そして毎回読んでくれた人たちにも感謝を伝えたい。「ありがとうございました」（読まない人には何も伝えられないが）

〇人として抵抗なく使いたい言葉があると思う。私が思うのは（最低）以下の3つ。

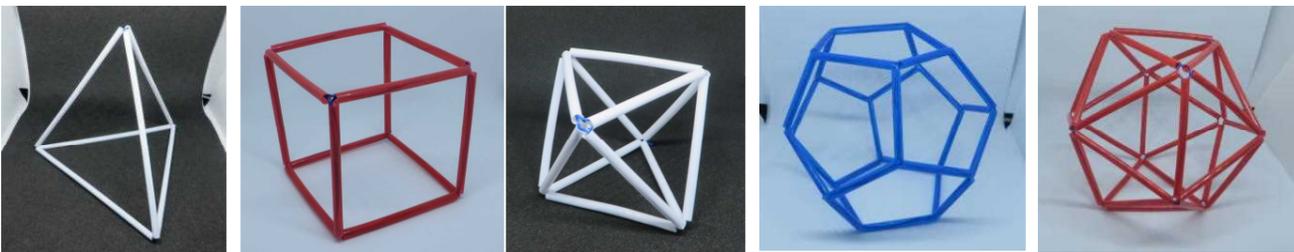
- ① ありがとう ② ごめんなさい ③ 挨拶（おはよう、こんにちは、こんばんは）

この言葉が素直に、自然に使えれば、他者との関係において大きなトラブルは回避できると思われる（当然、それに心がこもっていなければならないが）。しかしながら、なかなか使えていない人が多いように思われる。皆さんは如何か？

〇人には様々な思いがあり、他人と上手に付き合うのは簡単なことではない。他者の気持ちを思いやりながら、自分の思いを上手に伝えてキャッチボール（やり取り）をするのが上手なコミュニケーションの取り方である。相手の気持ちを思いやらず、自分の気持ちだけを一方的に投げつけ、自分の思い通りに相手をコントロールしようとするのは、軋轢を生み、人間関係を壊していく。「思いやり」のない言動により「重い槍」を背負うことになってしまうのである。残念なことに、そのような言動をとる人ほど、そのことに気づかないで、他人に責任転嫁をする傾向が強い。

〇最近、立体模型作りに少々はまっている。立体模型といってもプラモデルではない。数学でいう「多面体」というやつだ。数学の授業の教材として取り扱う中で、平面の図を見せるだけでなく、実際の形を手を持って実感してもらいたくて、模型を作ろうと思い立った。最初は厚紙で作ろうと思ったが、立体構造が見やすいようにと、ストローで辺を繋げる模型を作ることにした。瀧下先生から紹介された Web サイトを参考に、正多面体（各面が合同な正多角形で、どの頂点にも同じ数の面が集まるへこみのない多面体、5種類しか存在しない）の立体模型に挑戦した。

〇まず、100円ショップで子供用の真っ直ぐなストロー（1本12.5cm、120本で100円）と風糸を計200円＋消費税で購入し、正四面体を作った。なかなかいい感じだった。次に正六面体（立方体）を作ってみた。各辺（全部で12本であるが）を立方体（サイコロ状）の形に繋いで風糸を通して結んで完成。と思いきや、自立しない。実はこれ当たり前のことなのである。何も考えず作り始めたが、正六面体の各面は正方形であるために自立しないのである。正四面体は各面が正三角形なので崩れない構造となり、自立できる（同様に各面が正三角形である、正八面体と正二十面体は自立できるが、各面が正五角形である正十二



正四面体

正六面体

正八面体

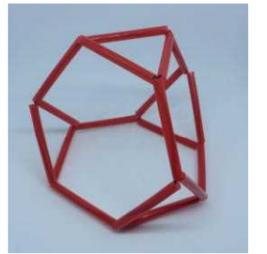
正十二面体

正二十面体

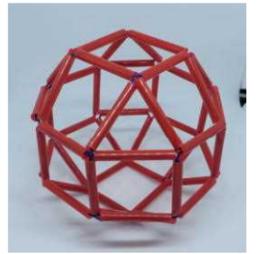
面体は自立できない)。いわゆる建築物で応用されているトラスト構造がこの原理である。少し考えれば分かることなのだが、やってみるまで気づかないでいた。そこでまたまた100円ショップに急行し、太さの異なるワイヤーを2種類購入。ワイヤーの堅さで各面が崩れないことを狙って作ることにした。渾身の作品の一部をご覧あれ。微妙な誤差やワイヤーの曲がりなどで少々不細工ではあるが、結構頑張った。正多面体は5種類しかないの、最近では半正多面体（13種類あるらしい）に挑戦している。

〇この立体模型作りを通して、やはり「やってみる」ことは大切であると感じた。やってみて初めて分かることも沢山ある。当然、思いついて直ぐやるのでは、無駄も多く、配慮に欠け、周りから齟齬を買うこともあるので、慎むべきではある。しかし、やろうかどうかと悩んでいるよりも、一歩足を進めてみる。失敗することもあるだろう。でも「失敗は成功の元」であり、失敗することで次の一手が見えてくるものである。

〇変化の激しい時代を我々は生きている。それに適応しきれない場面も出てくることだろう。しかしながら、自分のペースでいいから「まず一歩」を踏み出してみる。そこから道は拓けていく。「千里の道も一歩から」皆さんの未来に幸多かれと願って。



切頂四面体



斜方立法八面体

●進路室から愛を込めて●

進路指導部長 奥田 政治 先生

モードチェンジ

社会人になって自由を獲得すると同時に責任が生まれるとは何度も聞いた話だと思うけれど、もう一つ高校生と社会人との違いがある。何を食べようかと何を着ようかという悩みが増えるのだ。特に服装については悩ましさが増すようである。高校生までの制服がなんと便利だったのかと感じるらしい。制服は本当にとっても便利。どこにいても通用する上に、人の持つ个性的でありたいと同時に埋没したい・あまり目立ちたくないという、相反する欲求を満たしてくれるマルチな服だ。

2年生の4月に「モード」の話をした。服は機能だけではないさまざまなメッセージを発するものであって、いわば自分の一部である。人はその服を様々に着こなすことで多様な自分を作り、演出し、社会を築いている。ようするにひとつしか「モード」がないのはいろいろと困るということ。学校には学校の「モード」がある。社会には社会の、会社にはそれぞれの会社における「モード」がある。それを知り、それに自分を合わせることで居心地の良さを獲得する。

「外見（見た目）は中身の一番外側」ということも一度伝えたように思う。いよいよ3年生になる。3年生としての行動をしていこう。



★来年度当初の行事予定（以下の予定は変更されることもある）

- 4月 7日（水） 始業式、入学式
 - 8日（木） 年次集会、LHR（クラス開き・クラス役員選出・進路希望調査等）、個人面談、対面式、部紹介
 - 9日（金） 進路LHR、個人面談
 - 12日（月） 身体測定、頭髪服装指導、写真撮影、個人面談、部結成
 - 13日（火） 図書オリエンテーション、制服着こなしセミナー、個人面談、奨学金説明会
 - 14日（水） 授業開始（短縮40分7限授業）、個人面談
 - 15日（木） 短縮40分7限授業、個人面談
 - 16日（金） 春季遠足（雨天時4月19日（月））
- ※詳細な時間については、始業式の日（4月7日）に示します。